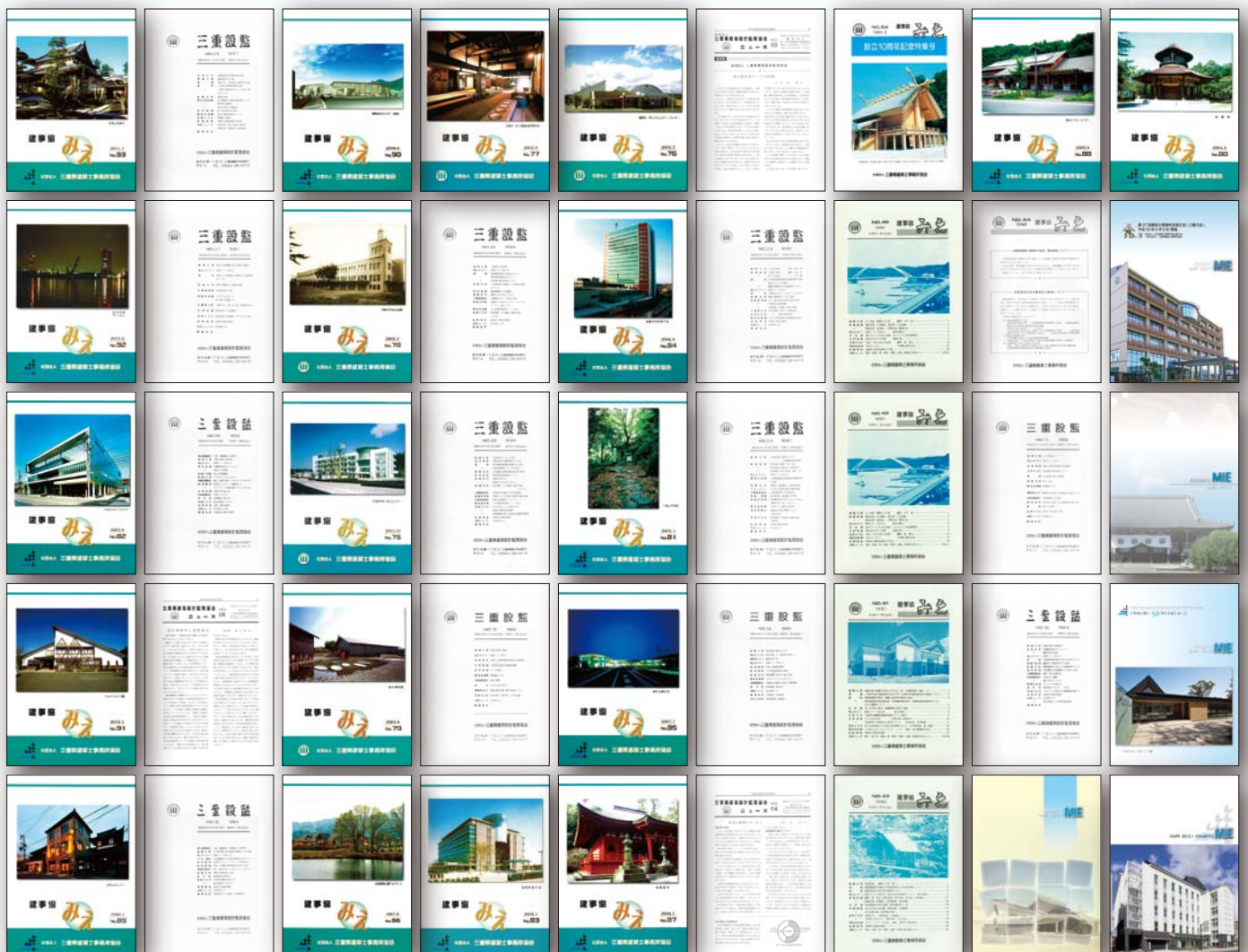


# No100 2016.1 KENJIKYO MIE

100th Special Issue



<b>巻頭のあいさつ</b>		
四日市市長 田中 俊行		1
<b>年頭のあいさつ</b>		
2016 年頭の挨拶		
会長 小久保 晃伸		2
<b>委員会報告</b>		
「三重県型木質系応急仮設住宅」について		
防災委員会 委員長 市川 恭子		3
<b>建築士事務所キャンペーン</b>		
2014 建築士事務所キャンペーン		
鈴鹿支部 三村 隆文		4
<b>支部ひろば</b>		
桑名支部		8
四日市支部		8
伊賀支部		9
紀州支部		9
<b>事務所紹介</b>		
リョーケン一級建築士事務所		10
E F T 建築設計事務所		10
類建築設計事務所		11
<b>新入会員紹介</b>		
J S R エンジニアリング 一級建築士事務所		11
有限会社 大幸一級建築士事務所		11
株式会社 阿波設計事務所 三重支店		11
<b>目安箱</b>		
組織の継承と将来		
松阪支部 伊藤 達也		12
越流堤ってなに？		
伊賀支部 三浦 吉光		12
健康に感謝		
志摩支部 向井 照雄		13
未来の建築士たちに		
伊勢支部 佐藤 薫		13



## 巻頭のあいさつ

四日市市長 田中俊行

三重県建築士事務所協会の会誌「建事協 みえ」が、記念すべき100号の発行を迎えられ、誠におめでとうございます。新年のお祝いと併せて、心からお慶び申し上げます。

また、貴協会におかれましては、昭和55年に三重県建築設計監理協会として設立以来、建築設計事務所の適正な運営の確保に努めるとともに、設計と工事監理の業務を通じて、地域社会の発展と活力あるまちづくりに多大なご貢献をいただいております。その長年にわたってのご尽力に改めて深く敬意を表し、感謝申し上げます次第です。

ご承知のように、現代社会においては、地球温暖化をはじめとした環境問題が世界的な喫緊の課題となっています。このような中、昨年7月には、「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」が公布されました。この法律の施行により、一定規模以上の建築物については性能基準への適合が義務化されることで、建築物に関するエネルギー消費の抑制が進むものと思われれます。建築設計に携わる皆様が、その実効性を高めるため、さらにご努力いただきますことを期待しております。

さて、四日市公害を経験した本市では、その教訓を生かしつつ、環境問題やエネルギー問題にも積極的な取り組みを進めていきたいと考えております。実は、その情報発信のための施設が、昨年3月にオープンした「四日市公害と環境未来館」です。

今後は、この施設を拠点として、産業の発展と環境の改善を両立させてきた“公害対策のモデル都市”から、さらなる環境先進都市へと歩みを進めていかねばなりません。その上で、観光や文化・スポーツなどの分野で四日市独自の魅力を創造し、それを市内外に強力に発信することによって、「魅力と風格のあるまち、四日市」の実現を目指してまいりますので、貴協会の皆様には、環境・景観・健康・文化など、さまざまな視点からお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の末永いご発展と会員の皆様の益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、巻頭のあいさつとさせていただきます。



## 新年のご挨拶

一般社団法人 三重県建築士事務所協会  
会長 小久保 晃伸

関係各位、会員各位におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、協会運営の推進、特に協会事業の円滑な推進に皆様の格別のご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本誌は今回が 100 号となる記念すべき発刊となりました。当協会は昨年 50 周年を迎えた、桑名支部をはじめとして各支部それぞれの地域での協会が逐次設立され、昭和 55 年に各協会が集まり三重県設計監理協会として設立がなされた歴史ある団体であります。

一昨年には社団法人として成立以来 30 年の記念式典も行わせていただいたところであり、今日このように、当協会を継続させていただくことが出来たのは、ひとえに、先輩諸氏による、建築士事務所のあり方を社会に示してきていただいた努力のお陰と、関係各位、会員各位のご支援のお蔭であり重ねて御礼申し上げます。

今後も建築物の設計・工事監理の業の適正化及び建築主等への情報開示を充実し、永く当協会を継続することにより、建築士事務所への信頼をさらに厚く築き、会員各位および後進のために、会員一同で努力を積み重ねて行かなければならないと思います。

さて、国では人口急減・超高齢化という直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、まち・ひと・しごと創生本部が設置されて取り組みが進められ、県におかれても少子化対策、産業振興戦略の取り組みを進められています。

経済面では特にアベノミクスにおける、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資喚起の成長戦略の三本の矢による、「デフレからの脱却」と「富の拡大」が進められていますが、景気が上昇しつつある日本経済がまた逆に戻りつつあるとも言われ、地方ではそして私どもの業界については、具体的な施策が見えず、感じられず、景気の明るい兆しを実感できていないと思われま。

当協会につきましても、収益事業が減少しており、現状のままでは、会の運営に大きな支障が生じかねない状態となっており、運営健全化を目指して、新たな業務拡大に役員一同努力をしているところです。

また、財政改革、組織改革を進めていく所存であり併せて会員増強を進めることは、当協会の組織、財政の基盤強化であると考えています。さらに、日本の人口危機問題を地で行くがごとく、会員の高齢化・後継者不足は深刻な問題となっており、県をはじめ各市町への要望で、建築士事務所のおかれている状況や問題をご理解頂き、業界の振興策を進めて頂けるよう努力しているところです。

今こそ、協会運営を今後のために大きく改革すべき時節ではないかと考えておりますので、当協会の発展のために会員各位の更なるご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、関係各位のますますのご発展と、会員各位の御健勝とご活躍を祈念いたしまして新年のあいさつとさせていただきます。

## 「三重県型木質系応急仮設住宅」について

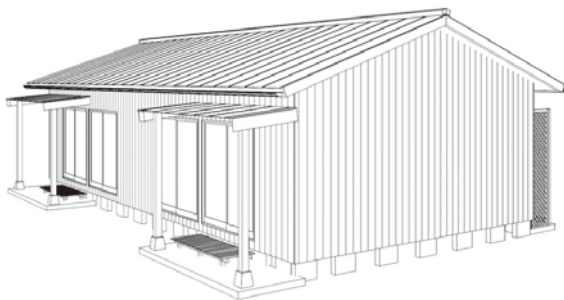
防災委員会 委員長 市川恭子

阪神・淡路大震災から20年が過ぎ、3月11日にはあの甚大な被害をもたらした東日本大震災から満5年目の年を迎えようとしています。この三重県においても他所事と楽観視している訳にはいきません。過去の巨大地震の歴史をたどると、869年の貞観地震前後から887年の仁和南海地震頃の巨大地震の歴史が、現代の地震発生と非常に酷似しているからです。南海トラフ地震発生危険性が高まる中、平成26年3月には三重県防災対策部より地震被害想定調査結果も公表されました。

三重県では南海トラフ巨大地震による大規模災害に備える為、兵庫県南部地震・東北地方太平洋沖地震の教訓を踏まえ、「三重県地域防災計画」に基づいて（一社）三重県建設業協会・建築関連4団体及び三重県木材協同組合との間で、「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」を平成26年3月11日に締結しました。この協定を踏まえて、当「三重県建築士事務所協会」は、（一社）三重県建設業協会より「三重県型木質系応急仮設住宅」の設計依頼を受け、平成27年6月に6坪・9坪・12坪タイプの仮設住宅の設計を完了しました。

### 《応急仮設住宅建設に関する留意点》

- 被災時の技能者・機械不足を考慮して誰にでも建築可能な工法を採用する（被災者の雇用）
- 地域の気候風土に配慮した工法・仕様とする
- 仮設住宅のみの資材在庫と考えず、平時に活用応用出来る資材と併用した仕様とする
- 復興住宅として再利活用可能な仕様とする



8月29・30の両日、三重木造住宅推進協議会による木造住宅イベント「『三重の木』でつくる暮らし展」において「三重県型木質系応急仮設住宅」の9坪タイプの設計に基づく実物大モデルの施工実演（棟上げまで）が行われました。クレーンや重機を使わず、「人力のみ」で組み上げる様子を大勢の来場者の前で披露する事が出来ました。

# 2015 建築士事務所キャンペーン



日時 平成27年10月24日(土)

メインテーマ  
信頼のあかし 建築士事務所協会

サブテーマ  
ぼくとわたしの  
すみたいおうちをかいてみよう

2015年の建築士事務所キャンペーンは、全国統一テーマ「信頼のあかし 建築士事務所協会」を掲げ、三重県、鈴鹿市、鈴鹿市教育委員会の後援を受けて10月24日に「イオンタウン鈴鹿」の催事場をお借りして開催しました。

鈴鹿市の協力もいただき、木造住宅の耐震や省エネの相談会を行いながら建築士事務所の役割・必要性の周知に努め、サブテーマ「ぼくとわたしの すみたいおうちをかいてみよう」にあります、恒例イベントとなっている小学校以下の児童を対象にしたエコバック作りを行いました。

本年度は近年のように祭り等のイベントに出展する形式ではなく、単独でのキャンペーン開催となりましたので、当日のショッピングモールのお客の出入が影響しましたが、昨年より少ないながらも121名の児童が参加され、父兄の方にもアンケート記入にご協力いただきまして、無事終了することができました。

後日広報渉外委員会にてエコバックに描いてもらった絵の審査を行い、鈴鹿市教育長賞1点、三重県建築士事務所協会会長賞1点、その他協会賞として6点を選出し表彰する運びとなりました。鈴鹿市教育長賞及び事務所協会会長賞については、後日当協会会長より直接、表彰状と副賞が授与されました。

このキャンペーンは参加した子供はもちろん父兄の方も皆喜んで帰っていただきます。子供たちが描く絵は皆それぞれの個性が溢れ出ていて、父兄の方と楽しく絵を描きうれしそうにエコバックを抱えて帰って行くのを見ていると、私たちも楽しくなりますし勉強にもなりました。これからもこのような身近に接することができるイベントを行うことで、事務所協会の周知活動を継続できればと考えております。



郡山小学校 石原 聖仁 さん  
鈴鹿市立郡山小学校にて表彰



牧田小学校 野内 ひろみ さん  
鈴鹿市立牧田小学校にて表彰



# 表彰作品

(一社) 三重県建築士事務所協会

## 鈴鹿市教育長賞



石原 聖仁さん  
郡山小学校

## 三重県建築士事務所協会会長賞



野内 ひろみさん  
牧田小学校



野内 なつみさん  
牧田小学校



石原 主輝さん  
郡山小学校



岡本 絢さん  
石薬師小学校



新田 陽人さん  
旭が丘小学校



三村 璃子さん  
若松小学校



こくぼ しおりさん  
鼓ヶ浦小学校